

第十二号

# 風知草



《発行》新津西部コミュニティ推進協議会

《発行日》平成26年 3月 1日



## つれづれ

子供が小学校入学と同時にPTAと関わるようになって、もう三十年になる。委員会活動では、「教養」と「広報」にはなりたくないと思い、うまい具合に保体委員になった。しかし、なぜかその後小学校でも、中学・高校でも広報委員になる事が多かった。初めて広報委員になったときは何がなんだかまったく判らず、経験者に、「この記事のリード文を作って下さい」「この文章は句読点がめちゃくちゃだから直して下さい」などと言われ、見様見真似で何とかこなした。その頃、目にした「広報作りの手引き」に「広報は発行することが目的なのではなく、手段である」と書いてあった。「情報を共有し、活動を見直し、更なる発展を図る。」そのための手段としての広報発行。

コミ協が出来て六年。広報発行は十二号を数える。学校などの広報は、基本一年任期。読み手・書き手が入れ替わる。「風知草」作りはズーっと作り手が同じ。このままでは発行する事が目的となってしまうのではないかと危惧される。

(K)

# 秋葉区文化会館

## オーフニング セシモニー



「秋葉区文化会館」は秋葉区の新たな地域文化の創造と地域交流を活性化し利用するすべての人が心地良さを感じることができること。このコンセプトのもと平成二十五年九月二十一日にオープンいたしました。新潟市秋葉区新栄町四番二三号（新津第一中学校隣）に、秋葉区の里山をイメージした海外でも注目される斬新なデザインで、鉄筋コンクリート造りを主体とした建物とその威容を誇っています。

またその外観だけでなく座席数四九六席の美しいホールも自慢です。内部は里山の洞窟、秋葉の紅葉色をイメージした個性的な仕上げで音響の素晴らしさも特筆に値します。世界最高峰のピアノ製造者「スタインウェイ」社の誇るD247モデルを常備し世界のピアニストに愛され表現される日々を待っています。ホールは多目的（演劇・演芸・講演等々）ではありますが、特にクラシック系音楽の様な電気処理を施さない生の響きを大切にすることに大きな強みを発揮するよう、暖かい中にも一本芯の通ったしっかりした響きが出演者と聴衆、双方の感動の源となることでしょう。

秋葉区文化会館 館長  
小林 正樹



思いやりを行動に

新津第一中学校

一年 齋藤 舞

通学中のことでした。おばあさんが、スーツ姿の男性に道を尋ねていました。おそろく出勤途中であろうこの男性は親切に教えてくれました。自分の事は後にして、誰かを助けているその姿に感動しました。もし私と同じ状況になったらこの男性のように対応したいと思います。

それと、私が小学生の時に感じた事があります。セーフティスタッフの方が挨拶をしているのに、返さない人がかなりいました。私達の安全を見守って下さっているのに挨拶をしないのは、失礼だと思えます。挨拶で日頃の感謝を伝えることができるはずですよ。

小さな事でも行動に移せば、地域のためになります。一人一人が行動に移し、思いやりの輪を広げれば、この地域がもっと良くなると思えます。

明るい挨拶のできる町に

新津第一中学校

二年 市川 ゆい

「地域に望む」子どもたちの声

「こんな街になっていったらいいなあ」、「こんな行事があれば楽しいだろうなあ」等を語る新コーナーです。

私は、地域の中で明るい挨拶が飛び交うようになるといいと思います。

私は地域の方と挨拶をすることでコミュニケーションがとれ、地域の方々と仲が深まり、挨拶をした方もされた方も明るい気持ちになろうと思います。私も小学校のとき、セーフティスタッフの方が挨拶をして下さり、いつも明るい気持ちで学校に登校することが出来たことを覚えています。

また、挨拶をしていくうちに地域の雰囲気も明るくなり、困っている人がいたら助けるなど思いやりのある行動ができるようになると思います。そうすればもっとみんなが過ごしやすい地域になると思います。私もこれから地域の方とすれちがったりしたら、明るい挨拶を自分からしていきたいと思えます。



編集 後記

バトンタッチ No.11



日頃の出来事や思うこと等を紹介しながら、地域の皆様の“つながりの輪”をひろげていくコーナーです。

うちの家はみんなが悪い(ある作文から)

さつき野一丁目 熊倉 敏明

先日、素敵な作文に出会いました。ご紹介します。

きょう私が学校から帰ると、お母さんが「お兄ちゃんの机を拭いていて金魚鉢を落として割ってしまった。もつと気をつければよかったのに、お母さんが悪かった」と言いました。するとお兄ちゃん「僕が端っこに置いていたから、僕が悪かった」と言いました。

でも私は思い出しました。きのうお兄ちゃんが端っこに置いたとき私は「危ないな」と思ったのにそれを言わなかったから、私が悪かったと言いました。

夜、帰ってきてそれを聞いたお父さんは「いや、お父さんが金魚鉢を買うとき、丸い方ではなく四角いほうにすればよかったなあ。お父さんが悪かった」と言いました。そしてみんなが笑いました。

うちはいつもこうなんです。うちの家はいつもみんなが悪いのです。

いかがですか？

次号は  
美善一丁目 馬場一也さんへバトンタッチします。

昨年、最愛の父が亡くなった。病氣らしい病氣をしたことがなく、「放っておいても一〇〇まで生きるだろう」と、誰もが思っていた父に、思いもよらぬ病名が告げられ、八〇才を目前に亡くなってしまった。

その一方で私の祖母は一〇〇を超えた今も元気に楽しく(?)毎日過ごしている。

人の寿命は不思議だ。誰がどうやって決めているのだろう。

私の寿命は…なんて考えても分かるわけがないのだから、毎日を元気に楽しく過ごすことにしよう!

そんなことを考えながら今年も始まりました。

みなさん、今年もよろしく願います。

求む 投稿原稿!!  
求む 編集担当者!!

連絡先・事務局(山谷町二丁目 二一五 齋藤 靖)  
☎〇二五〇一一二四一九八

新津西部コミュニティ推進協議会の活動は新潟市からの補助金を受けています。